



平成22年11月10日

各 位

会 社 名 栗林商船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 栗林 宏 吉
 (コード番号 9171 東証第2部)
 問合せ先 取締役経理部長 阿部 英之
 (TEL 03-5203-7982)

平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成22年5月14日に発表いたしました第2四半期累計期間の連結及び個別業績予想数値と本日公表の実績値との間に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異について

(1) 第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,000	百万円 400	百万円 300	百万円 100	円 銭 7.96
実績値 (B)	21,884	453	374	△ 49	△ 3.91
増減額 (B-A)	△ 1,116	53	74	△ 149	
増減率 (%)	△ 4.9	13.3	24.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	42,119	243	26	△ 558	△ 44.46

(2) 第2四半期累計期間個別業績予想数値と実績値との差異(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,250	百万円 100	百万円 75	百万円 50	円 銭 3.97
実績値 (B)	8,273	162	165	73	5.76
増減額 (B-A)	23	62	90	23	
増減率 (%)	0.3	62.0	120.0	46.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	16,613	254	190	118	9.44

2. 差異の理由

当社の第2四半期連結累計期間及び第2四半期個別累計期間の業績は、第2四半期末まで継続したエコカー補助金制度による車輛輸送を主として、全般的に貨物輸送量が順調に推移したこともあり、前第2四半期累計期間に比べて営業成績は改善いたしましたが、第2四半期連結累計期間の売上高は業績予想数値までの達成は出来ませんでした。

連結業績数値及び個別業績数値は連結当期純利益を除き営業利益、経常利益並びに個別当期純利益とも業績予想数値を上回ることが出来ました。

第3四半期以降はエコカー補助金制度終了等により貨物輸送量が鈍化する可能性があり、平成22年5月14日に発表いたしました通期業績予想は、連結業績予想数値及び個別業績予想数値とも変更はいたしません。

このため第2四半期連結累計期間及び第2四半期個別累計期間の業績予想数値と実績値との差異についてのみ、お知らせいたします。

以 上